

三宅島2000年・主な山頂噴火

	7月8日	7月14日		8月10日	8月18日	8月29日
噴火時刻 状況	18:41～ 噴煙は10分程度で 見えなくなった	04:14～ 断続的に噴火	15:50～ 16:50にかけ噴火。 18時頃から再び噴 火。15日まで続く。	06:30～ 活発な噴火は07時 頃から10時頃まで 続く。13時過ぎに低 下。	17:02～ 噴火に伴う微動、空 振は18:30には振幅 小さくなる。	04:35～ 空振は04:35～05:30 まで大きい状態。夕 方まで断続的に続 く。
噴煙最高高度 (1)	800m	1500m	1500m	8000m	14000m	8000m
降灰・噴石等の状 況	東部に降灰	北東部に降灰	北東部に降灰 火口周辺に噴石放出	北東部から東部に降 灰	ほぼ全島で降灰。西 側山麓で厚さ約 10cm。 噴石も山麓まで落 下。	北西～北～南東部に 降灰。北東側と南西 側に低温で勢いのな い火砕流。北東側は 海まで達する。
噴出物量 (2)	約9.7万m <sup>3</sup> (約16万ト)	約210万m <sup>3</sup> (約320万ト) (14～15日の噴火)		約23万m <sup>3</sup> (約35万ト)	約520万m <sup>3</sup> (約780万ト)	～350万m <sup>3</sup> (～530万ト)
傾斜ステップ (3)	18:41 (噴火とほぼ同 時?)	02:11 (噴火の2時間前)	前後にステップなし	前後にステップなし	18:09 (噴火中)	なし
その他の 地殻変動(3)	噴火前に山頂が沈降 する向きの傾斜変化 が加速。			噴火後山頂が沈降す る向きの傾斜変化あ り。	16時頃から山頂部が 上がる傾向の変動が あり、噴火後山下が りとなる。	噴火後山頂が沈降す る向きの傾斜変化あ り。
微動最大振幅 (A点UD)	140mkine以上	17mkine	16mkine	25mkine	73mkine	65mkine
空振最大振幅 (伊ヶ谷)	空振計なし	1Pa程度	8Pa	16Pa	20Pa以上	14Pa
微気圧計振幅 (hPa)(4)	0.1以下	未計測	未計測	0.1	0.4～0.5	未計測
備考	陥没を伴う				これまでで最大規模	

- 1 7月8日、14日は三宅島測候所の遠望観測による。8月10日、18日は映像、写真による。8月29日は大島測候所の遠望観測による。
- 2 東京大学地震研究所によるまとめより(陥没火口や海域に堆積したものは含んでいない)
- 3 防災科学技術研究所傾斜計による
- 4 防災科学技術研究所阿古観測点のデータ